

# 「令和6年度 CLT構造・設計研修会」のご案内

SDGsや脱炭素社会実現への取り組みの一つとして、建築物の木造化や木質化が全国的に注目されています。道内においても、公共建築物や民間の大型施設で道産木材を積極的に活用した事例が増えています。中でもCLT（直交集成板）は、特徴的な意匠性と軽量で強度に優れた面材料という特性から、中高層建築物の建築も可能な建材として国内外で活用が進んでおり、道内でもCLTを用いた建築事例は増加傾向です。

ただ、特殊な建材でもあるため、うまく活用するには構造設計方法の工夫が重要になります。本研修会では、**CLTを用いた構造設計方法のポイント等について、体系的かつ実践的にレクチャー** いたしますので、興味がある方はぜひご参加ください。

★「建築士会CPD制度」認定プログラム対象(申請中)

開催日時：2024年12月3日(火)10:00～16:15

会場：TKP札幌駅カンファレンスセンター 2階 カンファレンスルーム2D

札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴェオオフィス札幌 ([Google Map](#))

対象者：建築構造設計技術者、自治体の建築確認申請担当者等

参加費：無料

参加方法：①会場(会場定員 40名) ②Zoomウェビナー

※会場参加ご希望の方は、定員に達し次第募集を締め切らせていただきますことをご了承ください

※Zoomウェビナー参加枠に定員はございません

プログラム：※都合によりプログラム・講演者等が変更になる場合もあります

## 1. ごあいさつ

## 2. 「CLT関連告示等解説書」「CLTを用いた建築物の設計施工マニュアル」改定について

株式会社日本システム設計 代表取締役 三宅 辰哉 様

## 3. 「実務者のためのCLT建築物設計の手引き」改定について

一般社団法人日本CLT協会 専務理事 坂部 芳平 様

昼休憩(55分)

## 4. 「CLTパネル工法低層建築物の設計法」

一般社団法人日本CLT協会 構造設計相談室 中越 隆道 様

## 5. 「CLTパネル工法の一貫構造計算プログラム解説」

京大大学生存圏研究所 准教授 中川 貴文 様

休憩(15分)

## 6. 「鉄骨床梁を併用したCLT建築物の設計マニュアル解説」

京大大学生存圏研究所 生活圏木質構造科学分野 研究員 辻 拓也 様

## 7. 「CLT遮音マニュアル解説」

一般社団法人日本CLT協会 開発技術部 次長 中井 聡 様

## 8. 閉会



▲アミキッドベース(CL T活用)

講師による講演内容の資料データは、研修会前日の正午までにアップロードし、ダウンロードURLを、参加お申し込みをいただいた方にお知らせいたします。

PC、タブレット、スマホなどにデータをダウンロード、もしくは出力紙を持参の上ご参加ください。

※当日、資料の配布はございません

参加お申し込みについては次ページ >>

